

工房の日々

去年の暮れからオミクロン株による爆発的な新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大で、大阪では一日 1 万人、兵庫でも 5 千人を超える勢いで増え続けています。

オミクロン株は、一般的に感染力は強い一方で重症化リスクは低いとは言え 手洗いうがいの徹底、三密の回避、不急不要な外出はなるべくしないようにするなどのまだまだ私たちにもできる感染対策を求められる感じがします。

工房の日々の通所率もコロナ前より減少してて、日々 1 名から 3 名と日によって、バラつきがありますが、スタッフ間で「コロナ

とかの影響で所員さんが少ない日もあって寂しいけど、来てくれた所員さんを大事にしながら、このコロナ渦の中でも障害者のパソコン研修の場や地域の障害者の居場所を守っていこう」と声をかけ合い頑張っています。

いつも軽トラックで通所されている最高齢の C さんは、年末にかけて体調を崩されていたこともあり、年明けに筆ぐるめを使って、一枚一枚思いを込めて寒中見舞いを作られていました。私たちもそうなのですが、筆ぐるめなどの年賀状作成ソフトは年賀状のシーズンしか使わないので、宛名面の連名や送り先の住所の行間などの細かい設定方法とかが忘れがちになるので、C さんも笑いながら「パソコンがおかしくなったのか、僕が呆けたのか分からんわ」と言われつつも私たちと一緒に工房にある筆ぐるめのテキストやインターネットで調べたりして、一つずつ修正していき C さんが思われている寒中見舞いはがきに完成させていけました。「おお、パソコン壊れてなかったわ。これで少し遅れたけどみんなに新年の挨拶ができるわ」とかなり安堵された表情で言われていました。

スタッフの川上さんも早いもので、今年の 4 月でスタッフとして入社してくれて 3 年目になります。

工房の色々な仕事を覚えてほしい気持ちと所員さんたちに寄り添いながら接することで、所員さんの気持ちになりきって地活センターのスタッフとして、日々の行動をしたり、文書とかで表現することを覚えてほしかった気持ちもあって、ここ 1 年余り彼に、このニュースの作成をお願いしてきたのですが、あまり文章を書いた経験がない彼にとって、まだまだニュースの作成・編集は難しかったようです。入社当時より、あまり自分の意志や思いを口にするタイプではなかった彼ですが、「文書を書く仕事は苦手やけど、会計の仕事ならできそうな気がするから会計の仕事をさせてほしい」と自ら申し出てくれました。今は、少しずつ工房の会計業務を覚えてもらおうと同時に、スタッフとしての自信をつけるために簿記 3 級の資格取得を目指して頑張ってくれています。工房の存続意義や基本的な理念を大事にしながら、今年もスタッフ・所員同士で力を合わせて頑張っていきたいです。

今後の予定

今後の予定は未定です。
※所員さんには、決まり次第お知らせします。



イラスト・Aya

震災から27年



今年の1月17日で阪神淡路大震災から27年が過ぎました。

震災当時、高校生だった私は猪名川町の実家で母親と寝ていたときに、強い縦揺れと横揺れを体感しました。

その年は、よく猪名川町で群発地震が発生していたので、地震が発生したときは「少し大きめの揺れが来たなあ」と思っていたぐらいで、身近な神戸や尼崎、伊丹などの阪神間の街並みが震災によって大惨事な状態になっているとは思っていませんでした。いざテレビをつけると震災に

よって阪急伊丹駅が崩壊されていたり、阪神高速が横に傾いたり、神戸の街並みが焼け野原になっていたので想像を絶するものでした。

ここ数年、コロナ渦で、神戸の復興で励みや支えになっている神戸ルミナリエの開催が見送られたり、兵庫県各地で震災の日に合わせて行われてきた「1.17を忘れない防災訓練」が見送られたりしているので、阪神大震災の記憶が薄れたり、記憶が途切れることはないか、とても気がかりです。

南海トラフ地震の発生確率が今後30年以内に80%から90%へと引き上げられた今だからこそ再度、阪神大震災の記憶を辿り、震災から学び得た教訓を生かし、近い将来起こるだろうとされている南海トラフ地震や台風などの自然災害にしっかり備える必要があると再認識しました。

オミクロン株の爆発的な感染拡大が終息したら、所員さんとスタッフの予定を合わせて避難訓練を行いたいと考えています。所員の皆さんご協力をお願いします。



チャレンジ美術館カレンダーができました。(A3壁掛けタイプ・1枚もの)

去年の春頃から体調を崩し自宅療養を余儀なくされていたAyaさん。先月までは月に5回のZOOMや電話を使った短時間でのオンライン研修・打ち合わせがやっとでしたが、彼女の体調も少しずつ安定してきたみたいで年明けから週1程度、工房に通所してみんなと顔を合わせてながら当工房のイラストレーターとしての工賃作業を頑張ってくれています。



※図はイメージです。

有難いことに「今年は、Ayaさんが作ったカレンダーは販売しないのか」と何件か問い合わせを頂き、Ayaさんもそれに応えるようにして、パンダがグランドピアノ、チェロ、バイオリンなどの楽器を演奏している「パンダのオーケストラのA3タイプのカレンダーを集中して短期間で仕上げてくれました。年末のカレンダーの販売期に販売できなくて、私もAyaさん本人もとても残念に思っていますが、是非カレンダーをご購入いただき、彼女の当工房でのイラストレーターとしての成長ぶりを感じて頂けると幸いです。

チャレンジ美術館カレンダーA3壁かけタイプ

300円